

相州海邊にへびあさがほといふ、日中に咲もの也、又かつほう花といふ、近き御代の御製とぞ、
 ひるがほは源氏の内になかりけりはたの赤きは平家成べし、墨莊漫録に、明宣徳年、帝夢神語、
 雨打無聲鼓子花、帝口占風吹不響鈴兒草、至今傳爲絶對、鈴兒草は沙參、俗につりがね草といへり、
 濱ひるがほは打碗花也といへり、大ひるがほは救急本草の藤長苗也といへり、讃岐の方言ちよ
 く花といへり、白ひるがほあり、南京晝顔は小輪なり、

〔大和本草^八蔓草〕鼓子花^{ホカ} 又旋花ト云、二種アリ、一種ハ葉ニ兩岐アリ、蔓長ク三四尺アリ、一種ハ葉

圓ク蔓短シ花ハ同、三才圖繪ニ、其根似筋故一名筋根、蒸煮堪噉甚甘美トイへり、花ハ牽牛花ニ似
 テ、淡紅色又白色アリ、晝シホマズ故ニ名ヅク、救荒本草、葍子根モ亦與此同、曰採根蒸食之、或晒乾
 杵碎炊飯食亦好、或磨作麪作燒餅蒸食、根ヲ鹽ニ和シテ煮食フ、凶年ニハ貧民根ヲホリテ食シ飢
 ヲ助ク、葉モ亦可食、時珍云、一種千葉者色似紛紅牡丹、俗呼爲纏枝牡丹、此種本邦ニアル事ヲ不聞
 〔和漢三才圖會^{九十六}〕旋花 鼓子花 旋葍 独腸草 筋根 天劍草 美艸 續筋根 和名波夜比止

久佐中略

按旋花盛于日午而旦暮萎故俗對以牽牛花稱朝顔、此名晝顔、比留加保

〔重修本草綱目啓蒙^{十四}〕旋花 ハヤヒトグサ和名紗 ヒルガホ ハタケアサガホ和州 ミ、ダ

レ。グサ。江州 チヨクバナ備前 カツホウ 備後 アメフリ バナ仙臺 一名掛金燈 農圃六書 葍

子根 救急本草 打碗花 兎兒苗 狗兒秧 燕葍根 同上 牽枝牡丹 盛京通志

原野ニ尤多シ、一タビ生ズル時ハ、細長キ白根地中ニ蔓延シテ治シ難ニ至ル、春舊根ヨリ苗ヲ生
 シ草木ニ纏繞ス、葉互生ス、形長シテ尖リ、本ニ小兩尖アリ、又短シテ本ニ四尖アル者アリ、夏月葉
 間ニ花ヲ開ク、辰後ニ開キ日夕ニ至テ萎ム、淡紅色ト白色トノ二品アリ、形牽牛花ニ似テ小シ、其
 萼ハ短濶ノ兩葉コレヲ挾ム、牽牛花ノ萼ノ細長ニシテ、五出ナルニ異ナリ、